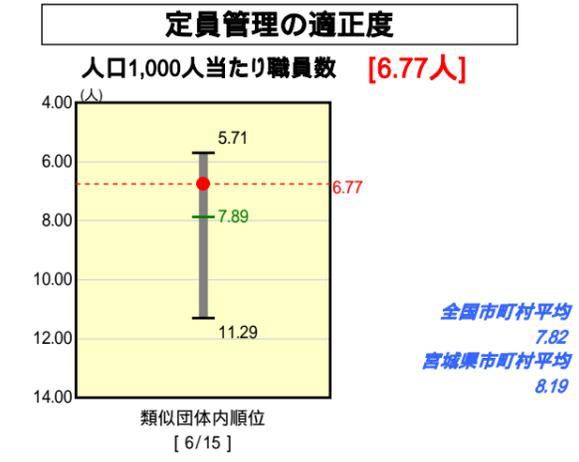
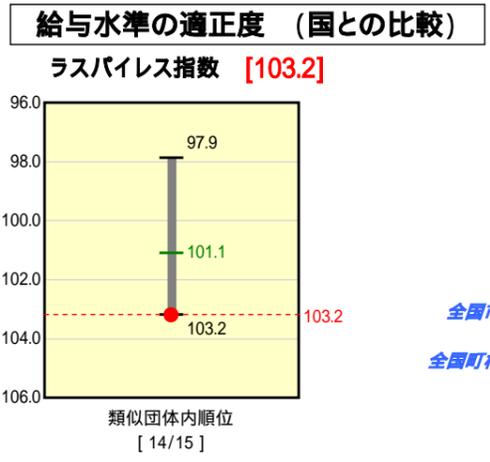
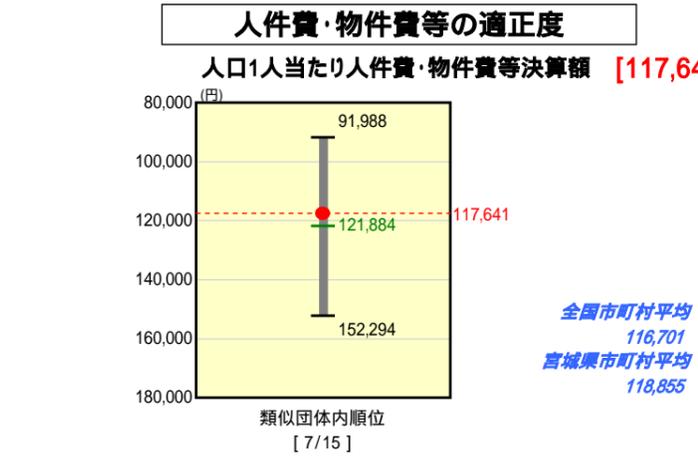
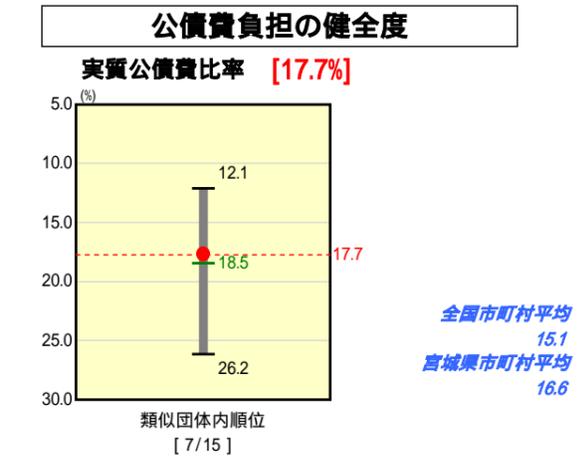
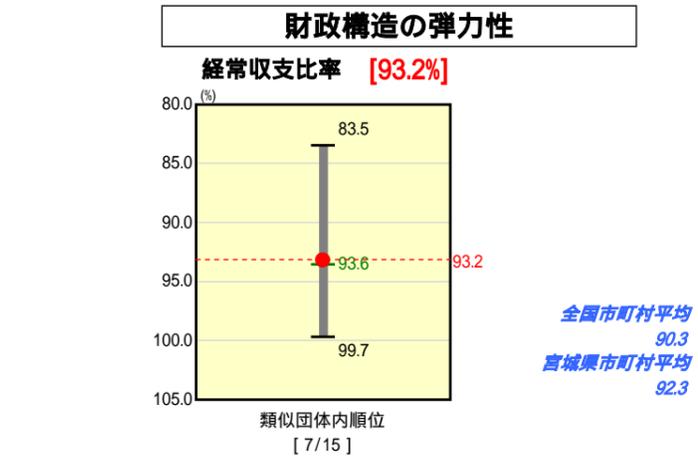
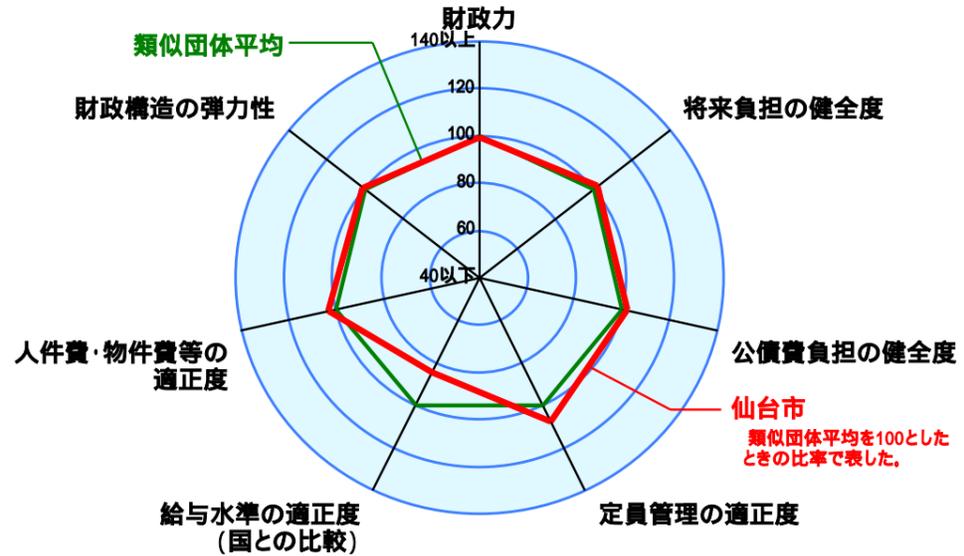
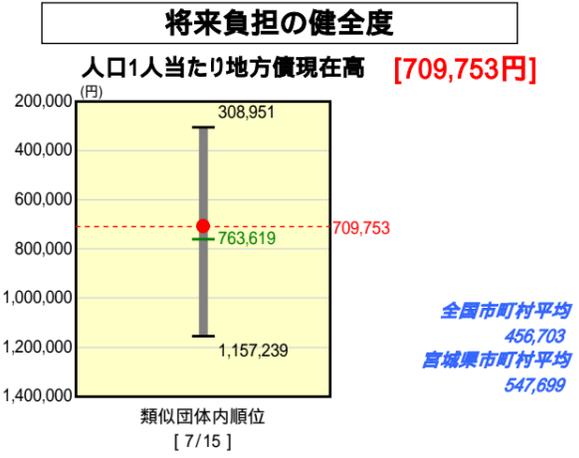
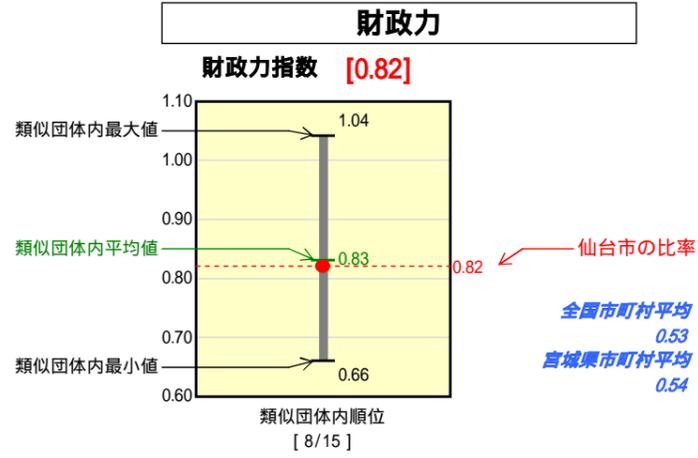


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

宮城県 仙台市

人口	1,001,387	人(H19.3.31現在)
面積	783.54	km ²
歳入総額	395,782,149	千円
歳出総額	390,316,058	千円
実質収支	382,700	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数
平成6～10年度は0.88前後で推移していたが、市税収入の減少等により平成13年度に0.80まで低下した。近年は基準財政需要額が圧縮傾向にあることなどから、若干の回復を示している。18年度は類似団体平均を0.01ポイント下回っており、ほぼ類似団体平均並みとなった。

経常収支比率
扶助費と公債費の増加傾向が続き、17年度までは6年連続で前年度の数値を上回っていた。18年度は公債費の減少などにより前年度比で2.7ポイント減少し、類似団体平均を0.4ポイント下回ったが、依然として高い水準にある。今後についても、扶助費の増加が続く見込みなどにより、引き続き高い水準で推移すると見込まれる。

ラスバイレス指数
ラスバイレス指数は、国を基準として、諸手当を除いた給料の水準を示すものである。本市は地域手当の支給率が国より低いと、相対的に給料の水準が高くなっており、また、給与構造見直しの経過措置期間中であることから、19年度は高い数値となっている。今後、給与構造見直しによる地域手当の引き上げと給料水準の引き下げ、昇給抑制の効果が生じることにより、低下する見込みである。なお、人事委員会勧告に基づく給与改定を行っており、地域民間給与との均衡は図られている。

人口1人当たりの人件費・物件費等決算額
行財政集中改革計画に盛り込まれた実施項目を着実に推進していることなどにより、類似団体平均を下回っている。

人口1人あたり職員数
直営施設の民営化の推進や家庭ごみ収集・運搬業務の民間委託等を進め、定員の適正化に努めてきた結果、本市の数値は類似団体平均を下回っている。定員管理の適正化については、今後も、事務事業の見直しや事務処理の効率化により、市全体で人員配置の見直しを進め、22年度当初までの間に、職員数を17年度当初比で1,000人以上削減することを目指しており、平成19年4月1日現在で339人の職員の削減を行った。

実質公債費比率
15～17年度の3か年は、公共用地先行取得事業債の大規模な満期一括償還が続いたことで公債費が増加し、数値が一時的に上昇していたが、18年度は大規模な満期一括償還の終了により、前年度比で1.2ポイント減少し、さらに類似団体平均を0.8ポイント下回った。

人口1人あたり地方債現在高
後年度に国から財源が手当てされる臨時財政対策債の現在高が増加したことなどにより、前年度比で1,277円増加したが、類似団体平均を53,866円下回っている。臨時財政対策債などを除く通常債の現在高は前年度に比べ減少している。